

## 大学教育再生加速プログラム（AP） 事後評価調書

【公表】

1. 整理番号	26
2. 大学等名	東京電機大学
3. テーマ	I・II複合型
4. 取組学部等名	未来科学部
5. 事業期間	平成26年度～令和元年度（6年間）

【公表】

8. 事業の概要（※400字以内）	(387文字)
<p>本事業は、教育改革、教員力向上、学生支援を一体的に企画・運営する、学長主導の「“学生第一”の一体化支援機構」の中で、本学がこれまで構築してきたPDCAの教育枠組をベースに、技術で社会に貢献する技術者に必須の知識・能力を修得させる教育体制構築のため、下記4点に注力して実施するものである。</p> <p>本事業は未来科学部の活動を基とし、この事業を統括する戦略会議を通じて成果を全学に普及させる予定である。</p> <p>（教育枠組）PDCAサイクル実質化のため、米国のVALUEルーブリックを参照した、汎用的能力の定量的評価ができるルーブリックを開発・普及  （教育枠組）授業外学修時間増加のための反転授業導入とその運用手法の開発・普及  （教育内容）教育目標としての知識・能力を学生に効果的に修得させられるPBLおよびアクティブ・ラーニング手法の開発・普及  （教員教育力）教員教育力向上のための教員評価制度と個人別指導制度の構築</p>	